



2016年2月期（第42期） 決算説明資料

株式会社 市進ホールディングス

JASDAQ 4645

1. 市進ホールディングス 概要紹介



グループ概要

連結子会社11社 (2016年4月現在)

※全て100%出資

持分法適用会社1社 非連結子会社1社

【変更点】

- ・ 2015年9月1日
(株) 桐杏学園を(株) 市進に吸収合併いたしました。
- ・ 2015年10月1日
(株) アンドゥを(株) 市進ホールディングスが完全子会社化いたしました。
- ・ 2016年2月末
市進インディアが非連結子会社から100%連結子会社となりました。
- ・ 2016年3月1日
(株) まなびソリューションズを設立いたしました。



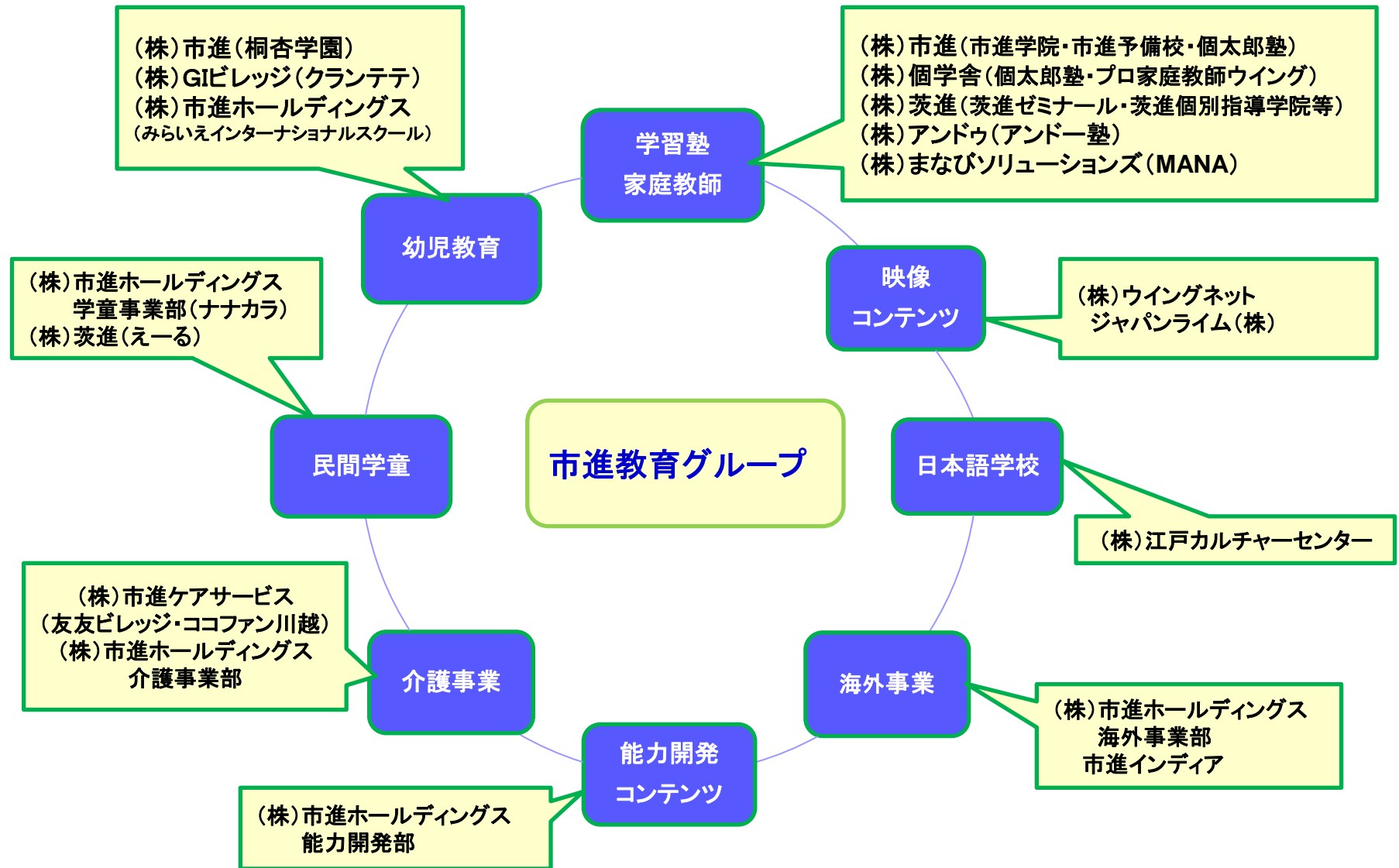
持分法適用会社



非連結子会社



各社の事業領域



(2016年4月現在)

市進教育グループの合格実績【中学・高校受験部門】

※2016年春合格実績

	東京都	千葉県	茨城県	埼玉県	神奈川県
高校受験	筑波大附属 33 お茶の水女子大附属 29 東京学芸大附属 13 日比谷 65 西 72 国立 56 戸山 65 八王子東 43 開成 14 慶應女子 14 早大学院 34 早稲田実業 12 桐朋 57	千葉 57 船橋 97 東葛飾 87 千葉東 62 佐倉 70 薬園台 71 渋谷幕張 30 市川 84 東邦大東邦 64 昭和秀英 142 日大習志野 333 専修大松戸 255 国府台女子 49	水戸第一 92 土浦第一 92 竹園 81 竜ヶ崎第一 64 土浦第二 72 牛久栄進 68 下妻第一 30 江戸川取手 71 土浦日大 717 常総学院 680	浦和 18 大宮 27 浦和第一女子 22 川越 15 春日部 31 川越女子 16 慶應志木 24 早大本庄 22 開智 40 立教新座 17 栄東 43 淑徳与野 33	湘南 5 厚木 7 希望ヶ丘 5 光陵 4 川和 4 市ヶ尾 12 生田 12 県立多摩 8 慶應義塾 24 桐蔭学園 35 桐光学園 24 法政大第二 9
中学受験	開成 8 麻布 8 武蔵 4 桜蔭 10 女子学院 8 双葉 3 早稲田 22 海城 17 芝 16 桐朋 10 豊島岡女子 12 都立三鷹 6 都立小石川 3	県立千葉 25 県立東葛飾 39 市川 156 渋谷幕張 53 東邦大東邦 184 昭和秀英 76 専修大松戸 116 芝浦工大柏 110	県立並木中等 84 県立日立第一附 58 江戸川取手 300 茗溪学園 126 水戸英宏 110 常総学院 129 土浦日大中等 264 取手聖徳 17	浦和明の星 44 立教新座 18 栄東 131 開智 127 獨協埼玉 118 淑徳与野 22 城北埼玉 28 春日部共栄 54	栄光学園 4 桐光学園 34 浅野 3 鎌倉学園 7 横浜市立南 6 県立相模原中等 7 中大横浜 8 フェリス女学院 2



2. 2016年2月期（第42期） 決算概要



業績予想との差異

■2016年2月期（連結）の業績予想との差異（4月11日発表の修正）

※百万円未満は切り捨て

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	16,161	227	213	103	10円07銭
今回実績値 (B)	16,321	649	623	242	23円52銭
増減額 (B-A)	159	422	410	139	—
増減率 (%)	1.0	186.1	192.7	135.6	—
2015年2月期実績	16,771	315	282	△1,053	△105円61銭

【修正の理由】

- ・市進の千葉県・東京都を中心としたドミナント再編成の成果があらわれました。
- ・個学舎は受講科目数が増加、茨進は計画以上に集客が好調でした。
- ・ウイングネットも加盟校数・受講生数が計画を大きく上回る結果となりました。
- ・経費面では、不採算拠点の撤退、人員および間接部門経費の適正化、経費構造の転換を図ったことにより、継続的に営業利益・経常利益の出せる体制が整ってきました。

連結損益計算書

※単位：百万円（百万円未満切り捨て）

	2015年2月期			2016年2月期		
	実績値	売上比	前期増減率	実績値	売上比	前期増減率
売上高	16,771	-	△ 6.1%	16,321	-	△ 2.7%
売上原価	14,124	84.2%	△ 6.7%	13,357	81.8%	△ 5.4%
売上総利益	2,647	15.8%	△ 2.5%	2,963	18.2%	11.9%
販売費及び一般管理費	2,332	13.9%	△ 10.7%	2,313	14.2%	△ 0.8%
営業利益	315	1.9%	209.6%	649	4.0%	106.3%
経常利益	282	1.7%	235.9%	623	3.8%	120.6%
当期純利益	△ 1,053	-	-	242	1.5%	-

- ・市進学院14拠点撤退の影響で売上高は減少しましたが、千葉県・東京都を中心にドミナントを再編成した成果があらわれ、採算は計画以上に改善しました。
- ・個学舎の受講科目数の増加、茨進の集客増、ウイングネットの加盟校数・受講生徒数増も利益改善に貢献しました。
- ・市進拠点・保養荘等の減損損失、訴訟解決金、固定資産除却損等を特別損失として計上しました。



業態別売上高

※単位：百万円（百万円未満切り捨て）

	2015年2月期	2016年2月期	前期比	構成比
集団授業売上高	10,571	10,207	96.6%	62.5%
個別授業売上高	3,965	3,870	97.6%	23.7%
映像授業売上高	1,883	1,918	101.9%	11.8%
その他売上高	350	325	92.7%	2.0%
売上高合計	16,771	16,321	97.3%	100.0%

※「その他売上高」は、（株）市進ケアサービス（高齢者向住宅、デイサービス）、教材販売などの売上

- ・ 集団授業部門は、市進が14教室撤退の影響で減少も、茨進が40周年キャンペーン、イベント、マーケティング戦略の成功で集客増。幼児教育の桐杏学園、日本語学校の江戸カルチャーセンターも集客好調でした。
- ・ 個別授業部門は、直営教室生徒数の伸び悩みはありますが、直営教室のFC化、生徒の受講科目増等で利益構造は改善しております。
- ・ 映像授業部門は、ベーシックウイングが引き続き好調、ジャパンライムの映像コンテンツも順調で売り上げを伸ばしました。



業態別生徒数(年代別)

年度	業態	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	総計
2015年 10月	集団授業	439	8,868	11,315	2,309	346	23,295
	個別授業	0	2,925	6,967	4,002	65	13,959
	映像授業	0	486	4,103	5,887	3	10,479
	計	439	12,279	22,385	12,198	432	47,733
2014年 10月	集団授業	339	8,684	11,154	2,503	300	22,980
	個別授業	0	2,775	6,873	4,199	45	13,892
	映像授業	0	63	1,648	6,097	6	7,814
	計	339	11,522	19,675	12,799	351	44,686
2013年 10月	集団授業	322	9,001	11,555	2,835	209	23,922
	個別授業	0	2,779	7,003	4,275	0	14,039
	映像授業	0	98	3,059	6,738	0	9,895
	計	322	11,878	21,617	13,848	209	47,856

【集団授業生徒数】市進学院、市進予備校、茨進集団授業教室、幼児教室、日本語学校の生徒数の合計。

【個別授業生徒数】個太郎塾、いばしん個別指導学院、アンドー塾、プロ家庭教師ウイングの生徒数の合計。

【映像授業生徒数】市進学院高校部の生徒数、提携校の生徒数の合計。

グループの拠点

グループ全499拠点
(2016年4月現在)

【埼玉県】全57拠点(-1)

- ・市進学院・市進予備校 20拠点
- ・個太郎塾 33拠点(-1)
- ・桐杏学園 3拠点
- ・ココファン川越(デイサービス) 1拠点

【茨城県】全102拠点(0)

- ・茨進ゼミナール 29拠点
- ・いばしん個別指導学院 30拠点
- ・茨進 中学受験ゼミ 18拠点
- ・茨進ハイスクール 16拠点
- ・ウイングキッズ・ラボ 4拠点
- ・個太郎塾 2拠点
- ・桐杏学園 2拠点
- ・えーる(民間学童) 1拠点

【東京都】全131拠点(+4)

- ・市進学院・市進予備校 38拠点(+2)
- ・個太郎塾 83拠点(+2)
- ・ハイパーウイング 1拠点
- ・桐杏学園 4拠点
- ・みらいえインターナショナルスクール 1拠点
- ・クランテテ(幼少一貫教育) 1拠点
- ・江戸カルチャーセンター(日本語学校) 1拠点
- ・友友ビレッジ(高齢者向け住宅) 2拠点

【千葉県】全169拠点(+15)

- ・市進学院・市進予備校63拠点(+7)
- ・個太郎塾 97拠点(+3)
- ・桐杏学園 3拠点
- ・ナナカラ(民間学童) 2拠点(+1)
- ・アンドー塾 4拠点(+4)

【神奈川県】全34拠点(0)

- ・市進学院・市進予備校 8拠点
- ・個太郎塾 26拠点

【他地域・海外】全6拠点(+1)

- ・個太郎塾 4拠点
(岡山県2 栃木県1 長野県1)
- ・海外学習塾 2拠点(+1)
(香港1 インド1)

※ () 数は第2四半期からの増減



今春の新拠点教室(千葉県・東京都東部を中心に展開)

【市進学院】 新拠点10教室 (撤退拠点・業態変更教室はありません)

●新拠点 <東京都> ・千住大橋教室 ・豊洲教室 以上2拠点

<千葉県> ・京成大久保教室 ・五香教室 ・新鎌ヶ谷教室 ・初石教室 ・南流山教室 ・白井教室
・公津の杜教室 ・東松戸教室 (今年度6月開校予定) 以上8拠点

【個太郎塾】 新拠点6教室 撤退拠点2教室

●新拠点 <東京都> ・千住大橋教室 ・豊洲教室 ・三ノ輪教室 以上3拠点

<千葉県> ・志津教室 ・新鎌ヶ谷教室 ・白井教室 以上3拠点

●撤退拠点<東京都> ・成瀬教室 以上1拠点

<埼玉県> ・坂戸教室 以上1拠点

【ナナカラ】 新拠点1校

●新拠点 <千葉県> ・八千代中央校 (2016年4月開校)



経費(4大経費の状況)

	2015年2月期				2016年2月期			
	実績値	前期比		売上比	実績値	前期比		売上比
人件費	9,246	△831	91.8%	55.1%	8,760	△486	94.7%	53.7%
施設費(賃借料)	2,921	△196	93.7%	17.4%	2,696	△225	92.3%	16.5%
広告宣伝費	608	△96	86.3%	3.6%	599	△9	98.5%	3.7%
印刷費	592	△88	87.1%	3.5%	543	△49	91.7%	3.3%
4大経費合計	13,370	△1,212	91.7%	79.7%	12,600	△770	94.2%	77.2%

※単位：百万円
百万円未満切り捨て

- ・引き続きグループ全体で、業務フローの見直しなど業務効率化による経費削減を進めました。
- ・人件費は間接部門の人員配置の見直し、早期退職による人数減の効果があらわれました。
- ・施設費は、前期撤退教室・フロア返還による賃借料の削減効果、印刷費は教材の冊子化、外部購入への切り替え効果があらわれました。

連結貸借対照表

※単位：百万円（百万円未満切り捨て）

	2015年2月	2016年2月	増減	増減率
流動資産	3,225	2,812	△ 412	△ 12.8
固定資産	8,394	7,768	△ 626	△ 7.5
繰延資産	8	4	△ 3	△ 44.4
資産合計	11,628	10,586	△ 1,042	△ 9.0
流動負債	4,851	4,088	△ 762	△ 15.7
固定負債	5,106	4,766	△ 339	△ 6.6
負債合計	9,957	8,855	△ 1,101	△ 11.1
株主資本	2026	2,126	99	4.9
その他の包括利益累計額	△ 382	△ 398	△ 15	△ 4.1
新株予約権	26	1	△ 24	△ 93.9
純資産合計	1,670	1,730	59	3.5
負債・純資産合計	11,628	10,586	△ 1,042	△ 9.0
自己資本比率	14.1%	16.3%	2.2%	—

- ・総資産は、前連結会計年度比1,042百万円減少し、10,586百万円となりました。敷金及び保証金の返還、有形無形固定資産の除却、減価償却による減少、投資有価証券の時価評価による減少などが主な要因です。
- ・負債は、前連結会計年度比1,101百万円減少し、8,855百万円となりました。短期借入金・長期借入金の返済による減少、未払金・未払消費税の減少が主な要因です。
- ・純資産は、前連結会計年度比59百万円増加し、1,730百万円となりました。利益剰余金の増加が主な要因です。

連結キャッシュフロー計算書

※単位：百万円（百万円未満切り捨て）

	2015年2月期	2016年2月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,109	873	△235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△424	△145	278
財務活動によるキャッシュ・フロー	△617	△884	△267
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額等	—	12	12
現金及び現金同等物の増減額	67	△143	△210
現金及び現金同等物の期首残高	821	888	67
現金及び現金同等物の期末残高	888	744	△143

- ・ 営業活動によるキャッシュフローは873百万円の収入となりました。税金等調整前当期純利益377百万円その他、非資金取引として減価償却費604百万円、減損損失89百万円、固定資産除却損88百万円を計上していることが要因です。
- ・ 投資活動によるキャッシュフローは145百万円の支出となりました。支出として有形固定資産の取得による支出275百万円、敷金及び保証金の差入による支出68百万円の計上、一方では、収入として敷金および保証金の回収367百万円を計上していることが要因です。
- ・ 財務活動によるキャッシュフローは884百万円の支出となりました。借入金の返済が主な要因です。

3. 通期の見通しと 今後の施策



2017年2月期 通期見通し

	2013年2月期 (実績)	2014年2月期 (実績)	2015年2月期 (実績)	2016年2月期 (実績)	2017年2月期 (予想)
売上高 (百万円)	19,139	17,858	16,771	16,321	16,355
営業損益 (百万円)	△ 780	101	315	649	338
経常損益 (百万円)	△ 785	84	282	623	305
当期純損益 (百万円)	△ 1,577	△ 737	△ 1,053	242	113
1株当たり当期純損益 (円)	△ 174.70	△ 81.68	△ 105.61	23.52	10.94
1株当たり年間配当額 (円)	10	10	10	10	10

- ・ 利益体質の改善が定着し、大きな特別損失も予定していないことから、営業利益、経常利益、純利益とも黒字は維持できる見込みです。
- ・ (株)市進の生徒数増加は最大の課題ですが、そのための教室リニューアルへの投資も積極的に実施します。

今期の各社の施策

●(株) 市進(市進学院・市進予備校・個太郎塾・桐杏学園等)

- ・千葉県、東京東部地区で今春開校の9教室は順調に集客。市進学院の強みである千葉県、東京東部地区での教室展開は今後も継続します。
- ・小学生部門は国私立中学受験指導をさらに強化するとともに、公立中高一貫校受検対策教材の強化、英語コースの充実などの多様化に対応していきます。
- ・中学生は、学校の成績向上、自立学習の確立、思考力・判断力・表現力の獲得を目指します。
- ・イングリッシュキャンプを英語指導の中核事業とし、グローバル社会への対応、大学入試改革への準備などをコンセプトに充実させていきます。

●(株) 個学舎(個太郎塾・プロ家庭教師ウイング・ハイパーウイング)

- ・直営店の集客増と申込科目数増を課題として、地域のニーズに対応した差別化を強め、競合他社のサービスレベルを超えるようにオペレーションを見直します。
- ・子会社化した「アンドー塾」とともに、千葉県房総地区での商品展開を強化していきます。

●(株) 茨進(茨進ゼミナール・いばしん個別指導学院・茨進中学受験ゼミ・茨進ハイスクール等)

- ・県立並木中等、県立日立第一附中などの公立中高一貫校、土浦第一高校、水戸第一高校の十分な合格実績を携え、マーケティング戦略、新商品の導入、受講促進等の商品力アップにより地域一番店の地位を確固たるものとしします。

今期の各社の施策

●(株) ウイングネット(映像授業「ウイングネット」「ベーシックウイング」)

- ・新しい学力観のうち知識・技能だけでなく、主体性・多様性を高めるツールとしての映像商品・受講システムを制作し、バージョンアップを図っています。また、新たに国語力を強化するコンテンツを投入します。

●(株) まなびソリューションズ(勉強ジム「MANA」)

- ・文科省が示している学力の3要素を効果的に身につけることができる勉強ジム「MANA」をグループ内外に広めることが当面の目的です。「MANA」では学力向上とともに、自立心を育て、問題解決能力や自己マネジメント力を身につけるアクティブラーニングにより新時代の塾を提案します。

●ジャパンライム(株)(スポーツ、教育、医学の映像コンテンツ制作・販売)

- ・主力商品の品ぞろえを強化し、売上高増加を目指します。販売チャンネルの拡大に取り組みながら、動画配信を売り上げの柱とするべく営業を強化していきます。また、電子書籍の販売拡充にも注力します。

●(株)江戸カルチャーセンター(日本語学校)

- ・東京オリンピック開催で、日本語への注目が集まる中、中国、韓国、ネパール、ベトナムからの留学生集客の他、新規加盟国を開拓していきます。

●(株)市進ケアサービス(高齢者向け住宅「友友ビレッジ」、通所介護施設「ココファン川越」)

- ・ココファン川越(デイサービス)は、地域のケアマネージャーなど介護事業に携わる皆様との連携を図る必要性から、新たに居宅介護支援業への参入を開始し、2年目の伸長期を迎えます。
- ・今後予想される介護職員不足に対し、職業訓練制度の一環として「介護職員初任者研修」を平成28年3月より開校し、介護資格取得と就労の支援事業を行っていきます。

今期の各社の施策

● (株) 市進アシスト (障害者雇用の促進)

- ・ 特例子会社としての社会的使命を達成することはもちろんのこと、今後はグループ内収入ばかりでなく外部収入を得る体制を構築することを目標にします。

● (株) G I ビレッジ (学研塾ホールディングスとの共同出資会社「クランテテ」を運営)

- ・ 生きぬく力をはぐくむモンテッソーリ・バイリンガル・スクールとして、学研グループの持つ幼児教育の強みと市進グループの小学生指導の強みの相乗効果を見込んで運営していきます。

● (株) 市進ホールディングス (学童事業・海外事業・能力開発事業・介護事業)

- ・ 学童保育「ナナカラ」の2号店を千葉県八千代中央に開所、好評を博してスタートしています。「まなび」のプログラム、英語教室、農業体験等の充実したメニューも取り入れ当社ならではの学童保育を目指します。
- ・ 長年蓄積してきた教授ノウハウの外販については、教育委員会での研修、私立学校での授業法研修の実績も増加し、省庁や独立行政法人など官公庁からの案件も受注しています。今後は企業からの受注増加を目指して活動していきます。
- ・ インドに展開中の日本語事業は順調に推移しており、今春からグルガオンで学習塾を展開しています。香港においては、現地公益財団法人と提携し学習塾と日本語教育事業を展開し、順調に推移しています。
- ・ 新規事業として、グループ内の豊富な人材資源を活用した人材派遣事業をスタートさせます。



中期経営方針のポイント

●連結売上高の増加を目標とする

- ・市進学院新拠点の開設と数年後の開花
- ・市進学院を中心とした設備リニューアル
- ・ウイングネット新商品の展開
- ・まなびソリューションズの展開
- ・国語、英語教育の充実と課題解決型授業への取り組み
- ・学童事業、介護事業、海外事業、能力開発事業の拡大

●利益面の施策

- ・増収を目標としながらも、必要な投資（設備更新含む）のための原資を確保する。
- ・2018年度までに連結営業利益率5%達成を目指す。
- ・每期利益計上により純資産の回復を図り、2018年度までに自己資本比率25%以上を目指す。



株主還元策

●利益配分に関する基本方針と前期・今期の配当

- ・株主への長期的利益還元が重要な経営課題の一つ。従来の安定配当を堅持。
- ・今期は黒字転換により、1株当たりの純利益も23円52銭になったことによる配当。

2016年2月期 期末配当金：10円

- ・2017年2月期 期末配当金：10円（予想）

●株主優待

毎年2月末日時点（年1回）で株主名簿に記載されている500株以上保有の株主様宛に
10,000円分の割引優待券（市進教育グループ受講券 5,000円券×2枚、税込み）を贈呈

《対象となる市進教育グループの教室・校舎》

市進学院／市進予備校／個太郎塾／プロ家庭教師ウイング／桐杏学園／アンドー塾／

ナナカラ／みらいえインターナショナルスクール

茨進中学受験ゼミ／茨進ゼミナール／茨進ハイスクール／いばしん個別指導学院／ウイングキッズ・ラボ／
イングリッシュ・キャンプ等

《対象となるサービス》

- ・市進教育グループ（上記）の入会金
- ・市進教育グループ（上記）の季節講習*講習料 *春期・夏期・冬期講習、高3入試直前講習
- ・プロ家庭教師ウイングの指導料

4. 参考資料



グループ沿革



学びの楽しさを次の半世紀へ

市進教育グループは50周年を終え、次の半世紀に向かいます。
これからも、総合教育サービスを通じて、社会に貢献いたします。

1965年

真間進学会開設

- ・1975年
(株)市川進学教室設立
- ・1979年
市進予備校開設、高校生指導開始

1984年

(株)市進に改称

- ・1984年
(株)市川進学教室を
(株)市進に改称
- 市川進学教室を市進
学院に改称

1989年

千葉県外へ進出開始

- ・1989年
八王子、聖蹟桜ヶ丘に
拠点開設
- ・1995年
市進チューターバンク開設、
家庭教師派遣業開始

1996年

株式を公開

- ・1998年
個太郎塾開設、個別指
導塾分野に参入
- ・1999年
(株)個学舎設立
- ・2006年
映像授業市進ウイング
ネットを開始

2010年－2016年

ホールディングス化

- ・2010年
(株)市進設立
(株)ウイングネット設立
ジャパンライム株式会社
を子会社化
- ・2011年
(株)市進アシスト設立
(株)江戸カルチャーセン
ターを子会社化
(株)桐杏学園を子会社化
楽ちん株式会社(現・市
進ケアサービス)を子会
社化、介護事業に参入
- (株)学研HDと資本・業
務提携
- ・2012年
(株)茨進を子会社化
- ・2015年
(株)アンドウを子会社化

民間学童「ナナカラ」八千代中央校オープン

「7colors(ナナカラ)」2号店八千代中央校 4月1日オープン

- ・2016年4月1日、千葉県八千代市東葉高速鉄道「八千代中央駅」近くに学童保育施設「ナナカラ」がオープン。
- ・市進グループの学習塾で指導経験を持つスタッフが常駐し、宿題のお手伝いはもちろん、子どもの個性と才能を発芽させる様々な体験プログラムを用意。



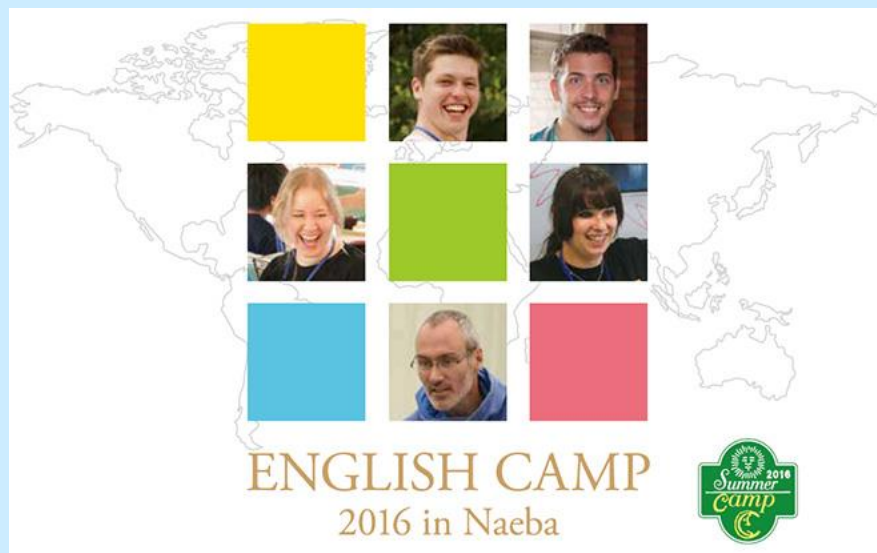
市進の英語教育(イングリッシュキャンプの拡大)

☆グローバル社会への対応

☆ネイティブ講師の活用

☆大学入試改革への準備

☆イングリッシュ・キャンプとの連動



2016年8月12日～15日
(3泊4日)
苗場プリンスホテル



市進の英語教育(レプトンの導入)

市進学院・個太郎塾・茨進の各教室に2016年4月より導入

<レプトンの特長>

- 「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく取得する独自の学習法。
- 個別・自立学習だから、自分のペースで好きなだけがんばれる。
- 個別・自立学習だからいつでもどのレベルからでも始められる。
- 世界標準テストJETによる達成度テストを実施。

聞く 話す 読む 書く

4技能マスターで、世界に通じる英語力が身につく

個別指導型子ども英語教室

Lepton
レプトン



インド・市進学院グルガオン教室

- ・新たに、今春よりデリー郊外の新興地グルガオンにて日本人向けの学習塾を展開しています。
- ・グルガオンは外国企業が多く集まる地域で、多くの日本企業が進出し日本人駐在員が住んでいます。
(ホンダ、スズキ、旭硝子、キヤノン、日立金属等)
- ・すでに入会者数は12名となり、今後の集客が期待できます。



(入会説明会の様子)



(グルガオン教室)

株価・株主数推移

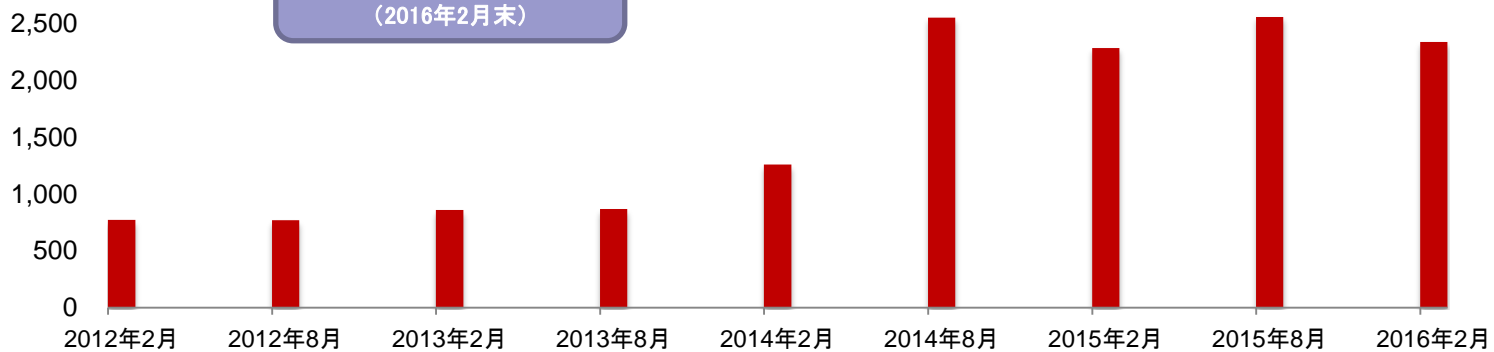
2013/03/31 ~ 2016/03/27



日経新聞スマートチャートより

(単位:人)
3,000

株主数2,542名
(2016年2月末)



会社概要・株式に関する事項

(2016年2月末現在)

- 社名：株式会社市進ホールディングス (ICHISHIN HOLDINGS CO.,LTD.)
- 創業：1965年5月
- 設立：1975年6月
- 代表者：代表取締役社長 下屋 俊裕
- 資本金：14億7,535万円
- 上場：1996年7月24日 JASDAQスタンダード (証券コード：4645)
- 発行済株式の総数：10,450,888 株
- 株主数：2,542名
- 大株主の状況

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率
1 株式会社学研ホールディングス	2,000	19.1%
2 株式会社 あげぼの事務所	1,826	17.5%
3 河端 真一	800	7.7%
4 梅田 威男	658	6.3%
5 株式会社 増進会出版社	573	5.5%
6 市進グループ社員持株会	502	4.8%
7 田代 英壽	350	3.3%
8 株式会社 千葉銀行	246	2.4%
9 株式会社 ウィザス	220	2.1%
10 金野 光宏	123	1.2%

※上記のほか自己株式120,590株を所有しています。



5. データブック

(2012年2月期～2016年2月期)



連結財務諸表

【損益計算書】

(単位:百万円)	2012/2期		2013/2期		2014/2期		2015/2期		2016/2期	
	実績値	売上比	実績値	売上比	実績値	売上比	実績値	売上比	実績値	売上比
売上高	17,964	100.0%	19,139	100.0%	17,858	100.0%	16,771	100.0%	16,321	100.0%
売上総利益	2,674	14.9%	2,403	12.6%	2,715	15.2%	2,647	15.8%	2,963	18.2%
販管費	2,885	16.1%	3,183	16.6%	2,613	14.6%	2,332	13.9%	2,313	14.2%
営業利益	△ 210	—	△ 780	—	101	0.6%	315	1.9%	649	4.0%
経常利益	△ 785	—	△ 189	—	84	0.5%	282	1.7%	623	3.8%
当期純利益	△ 370	—	△ 1,577	—	△ 737	—	△ 1,053	—	242	1.5%

連結財務諸表

【貸借対照表】

(単位:百万円)	2012/2期		2013/2期		2014/2期		2015/2期		2016/2期	
	実績値	総資産比	実績値	総資産比	実績値	総資産比	実績値	総資産比	実績値	総資産比
流動資産	3,597	22.5%	3,327	23.8%	2,826	22.5%	3,225	27.7%	2,812	26.6%
現預金	2,178	18.8%	1,880	13.5%	1,571	12.5%	1,638	14.1%	1,434	13.5%
固定資産	7,997	69.0%	10,650	76.2%	9,715	77.5%	8,394	72.2%	7,768	73.4%
有形固定資産	2,617	22.6%	4,631	33.1%	4,515	36.0%	4,121	35.4%	3,979	37.6%
無形固定資産	1,047	9.0%	1,536	11.0%	1,181	9.4%	922	7.9%	796	7.5%
投資その他資産	4,333	37.4%	4,482	32.1%	4,017	32.0%	3,351	28.8%	2,992	28.3%
繰延資産	—	—	—	—	—	—	8	0.1%	4	0.0%
資産合計	11,595	100.0%	13,977	100.0%	12,541	100.0%	11,628	100.0%	10,586	100.0%
流動負債	2,881	24.8%	4,337	31.0%	3,798	30.3%	4,851	41.7%	4,088	38.6%
短期借入金	534	4.6%	1,601	11.5%	1,722	13.7%	2,035	17.5%	1,749	16.5%
固定負債	3,645	31.4%	6,002	42.9%	5,924	47.2%	5,106	43.9%	4,766	45.0%
長期借入金	1,741	15.0%	3,971	28.4%	3,812	30.4%	3,114	26.8%	2,937	27.7%
負債合計	6,527	56.3%	10,340	74.0%	9,723	77.5%	9,957	85.6%	8,855	83.6%
純資産合計	5,068	43.7%	3,637	26.0%	2,819	22.5%	1,670	14.4%	1,730	16.3%
負債・純資産合計	11,595	100.0%	13,977	100.0%	12,541	100.0%	11,628	100.0%	10,586	100.0%



連結財務諸表

【キャッシュフロー計算書】

(単位:百万円)	2012/2期	2013/2期	2014/2期	2015/2期	2016/2期
営業活動によるキャッシュフロー	△198	△694	290	1,109	873
投資活動によるキャッシュフロー	△1,328	△313	△152	△424	△145
財務活動によるキャッシュフロー	497	459	△66	△617	△884
現金および現金同等物の増減	△1,029	△547	71	67	△143
現金および現金同等物の期末残高	1,297	750	821	888	744



業態別売上・生徒数推移

(単位:百万円)	2012/2期	2013/2期		2014/2期		2015/2期		2016/2期	
	金額	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
集団売上高	12,591	12,473	△ 118	11,333	△ 1,140	10,571	△ 762	10,207	△ 364
個別売上高	3,428	4,371	943	4,156	△ 215	3,965	△ 191	3,870	△ 95
映像売上高	1,695	1,961	266	2,028	67	1,883	△ 145	1,918	35
その他売上高	248	333	85	341	8	350	9	325	△ 25
合計	17,964	19,139	1,175	17,858	△ 1,281	16,771	△ 1,087	16,321	△ 450

※「その他売上高」は、(株)市進ヶアサービス(高齢者向住宅、デイサービス)、教材販売、受験ガイドの出版などの売上

	2012/2期	2013/2期		2014/2期		2015/2期		2016/2期	
	生徒数	生徒数	前年比	生徒数	前年比	生徒数	前年比	生徒数	前年比
集団授業生徒数(名)	23,752	25,518	1,766	23,922	△ 1,596	22,980	△ 942	23,295	315
個別授業生徒数(名)	12,258	14,103	1,845	14,039	△ 64	13,892	△ 147	13,959	67
映像授業生徒数(名)	8,699	9,570	871	9,895	325	7,814	△ 2,081	10,479	2,665
生徒数合計(名)	44,709	49,191	4,482	47,856	△ 1,335	44,686	△ 3,170	47,733	3,047

経費(4大経費の状況)

(単位:百万円)	2012/2期	2013/2期	2014/2期	2015/2期	2016/2期
人件費	10,384	11,151	10,078	9,246	8,760
施設費(賃借料)	2,876	3,167	3,118	2,921	2,696
広告宣伝費	1,187	1,147	705	608	599
印刷費	918	1,120	885	592	543
4大経費合計	15,366	16,586	14,788	13,370	12,600



拠点数推移

		2012/2期	2013/2期	2014/2期	2015/2期	2016/2期
集団	市進学院拠点数	126	129	124	124	116
	市進予備校拠点数	18	19	17	14	9
	幼児教育拠点数 (桐杏学園)	9	9	10	11	12
	茨進集団授業拠点数	—	55	65	65	67
	日本語学校拠点数 (江戸カルチャーセンター)	1	1	1	1	1
個別	個別授業拠点数	231	261	286	294	275
拠点数合計		385	474	503	509	480

※拠点数は該当する期の2月末日時点

その他指標

	2012/2期	2013/2期	2014/2期	2015/2期	2016/2期
一株当たり当期純利益 (円)	△ 42.74	△ 174.70	△ 81.68	△ 105.61	23.52
一株当たり純資産 (円)	557.42	397.76	306.87	159.19	167.33
ROE (%)	—	—	—	—	14.06
一株当たり配当金 (円)	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
配当金総額 (百万円)	90	90	90	103	103
配当性向 (%)	—	—	—	—	42.5
発行済株式数	9,550,888	9,550,888	9,550,888	10,450,888	10,450,888
株主数	908	1,007	1,414	2,492	2,542
従業員数(臨時従業員は含まず)	765	920	927	811	785

本資料は、2016年2月決算の財務情報・経営指標などの提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社市進ホールディングス 広報宣伝部

TEL : 03-5840-9837 FAX : 03-3816-9371

E-mail : kouhou@ichishin.co.jp

I Rホームページ URL : <http://ir.ichishin.co.jp/>